

1 調査書にはどんなことが書かれているの？

学習成績や中学校生活のようすを中学校の先生が記入

第11号様式										調査書		※ 受検番号			
志願先 高等学校		○○○○		立		○○		高等学校							
		○○		科		(コース・部・専攻)									
学籍の 記録	ふりがな	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○			性別										
	氏名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○			入学年月	平成	年	月	日	○○	中学校				
	生年月日	平成	○○	年	○	月	○	日	生	転入学年月	平成	年	月	日	転入学
	現住所	○○市○○町○○丁目○○番○号			卒業年月	平成	○	年	3	月	同	中学校	卒業		
各教科の学習の記録										総合的な学習の時間の記録					
教科	観点別学習状況				2年		3年		学年						
					評価	評定	評価	評定	学習活動の内容						
国語	国語への関心・意欲・態度				β		A		2年	市町村の福祉政策について知る。					
	話す・聞く能力				A		A			市役所で資料を収集し、市の福祉政策を具体例とともにまとめた。					
	書く能力				β	4	β	4							
	読む能力				β		β								
社会	言語についての知識・理解・技能				A		A		3年	地域で盛んな産業を知る。					
	社会的現象への関心・意欲・態度				A		A			地域の企業を訪ね、インタビューをもとに、地域産業をもとに活性化させる方法をまとめた。					
	社会的な思考・判断(表現)				A	4	A	4							
	資料活用(技能)(表現)				A		A								
数学	社会的現象についての知識・理解				β		β		総合的な学習の時間の記録						
	数学への関心・意欲・態度				β		β		特別活動等の記録						
	数学的な見方や考え方				β	4	β	4	美化委員(2年)						
	数学的な技能(表現・処理)				A		A		図書委員(3年)						
理科	数量・図形などについての知識・理解				A		A		テニス部(1〜3年)						
	自然現象への関心・意欲・態度				β		β								
	科学的な思考(表現)				β	3	β	3							
	観察・実験の技能(表現)				β		β								
音楽	自然現象についての知識・理解				A		A		行動の記録及び所見						
	音楽への関心・意欲・態度				β		β		2年次には美化委員として教室の清掃に積極的に取り組んだ。						
	音楽表現の創意工夫(音楽的な感受や表現の工夫)				β	2	β	2	2年次にテニス部の副部長になり、後輩の面倒をよく見た。3年次では市の大会で個人優勝した。						
	鑑賞の能力				β		β		本書の記載事項に誤りのないことを証明する。						
美術	音楽表現の技能				C		C		平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日						
	鑑賞の能力				β		β		中学校名 ○○○ 中学校						
	美術への関心・意欲・態度				β		β		校長氏名 ○○○○ (印)						
	発想や構想の能力				β		β		記載者氏名 ○○○○ (印)						
保健体育	創造的な技能				A	3	A	3							
	鑑賞の能力				β		β								
	運動や健康・安全への関心・意欲・態度				β		β								
	運動や健康・安全についての思考・判断				A	4	A	4							
技術・家庭・外国語	運動や健康・安全についての知識・理解				β		β								
	生活や技術への関心・意欲・態度				β		β								
	生活や技術についての知識・理解				β		β								
	生活や技術を用いて創造する能力				β	4	β	4							
外国語	生活の技能				A		A								
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度				β		β								
	(外国語)表現の能力				A	4	A	4							
	(外国語)理解の能力				A		A								
言語や文化についての知識・理解				β		β									
小計 ※															
計 ※															

→面接の資料

2・3年次それぞれの具体的な学習活動の内容、活動のようす、特徴が記載されます。

→面接の資料

中学校3年間での学級活動・生徒会活動・学校行事のようすと、所属していた部活動名が記載されます。

→面接の資料

中学3年間を通じて、具体的事実をもとにした学校生活全般にわたる行動のようすやすぐれた活動内容が記載されます。

内申(評定)⇒1次選考で使うS1を求めるための資料

2年次と、3年次の2学期(2学期制の中学校は12月末)の各教科の内申(評定)が、高い順に5〜1で記載されます(内申は通知表に記載される各教科の成績です)。この内申が1次選考の合格者を決める資料のひとつです。内申は5が最高点なので、2・3年次のそれぞれの満点は5×9教科=45点満点です。1次選考では、2年次の内申45と、3年次の内申45を2倍したものの合計点が用いられるため、45+45×2=135点満点となります。それぞれの教科を各観点で見た観点別学習状況は、評価が高い順にA、B、Cで記載され、A〜Cそれぞれの数によって内申がつけられます。

2 学力検査について知っておこう！

学力検査は、英語・数学・国語・社会・理科の5教科(各100点・50分)です。ただし、特色検査を行う高校では、学力検査を3～4教科で行うことができます。

3 教科 (英数国) 市立川崎総合科学(デザイン科) 上矢部(美術陶芸コース)
白山(美術コース) 弥栄(芸術科・スポーツ科学科)

2014年入試で、全日制では次の高校が3～4教科で学力検査を実施しました。また、2013年より学校独自問題が廃止され、全県共通問題になりました。

4 教科 (指定教科+選択) 神奈川総合(国際文化コース)・・・「英・国」+「数・理・社」から2教科選択

■学力検査の時間割 (2014年入試参考)

*英語はリスニングを含む。

検査についての注意	英語	国語	数学	昼食	理科	社会
9:10～	9:20～10:10	10:25～11:15	11:30～12:20		13:10～14:00	14:15～15:05

学力検査の出題方針と難易度 →2013年から記述式が増え、2012年までの全県共通問題より難化。

英語

基礎・基本的な知識を活用するような問題を出題。文章・グラフ・図などから情報を読み取って整理し、表現するような問題など。

数学

解答だけでなく、解答を出すまでの道すじを書く問題、証明などの道すじの全部または一部を書く問題などを出題。

国語

文章の内容をつかみ取る問題や、文章・グラフ・図などからわかることを読み取り、与えられた問題に関する事がらを説明したり、その理由や原因を記述したりする問題などを出題。

社会

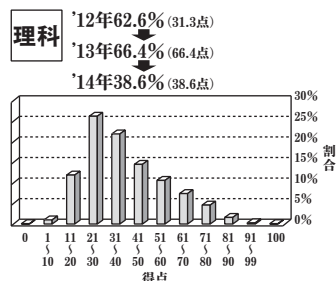
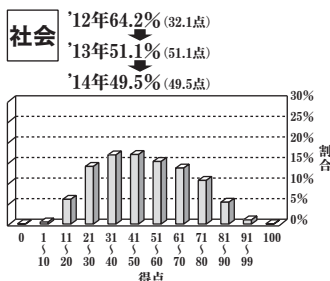
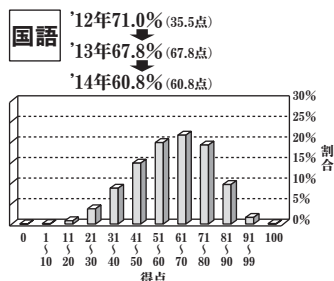
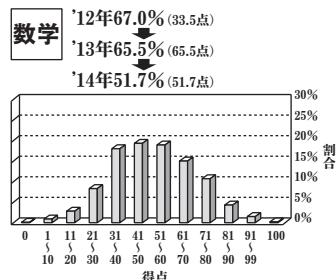
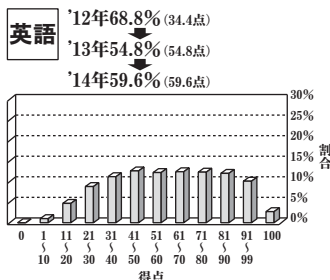
文章・グラフ・図・写真などからわかることを集めて、自分で考え、判断した結果を文章で表現するような問題などを出題。

理科

解答だけでなく、解答を導く道すじを書く問題、実験・観察から考えられることを書く問題、グラフを書く問題などを出題。

2014年春 共通選抜 合格者の平均点と得点分布 (全日制)

※'12年各50点満点 → '13年以降各100点満点
*p53「神奈川県公立高校入試問題分析参照」



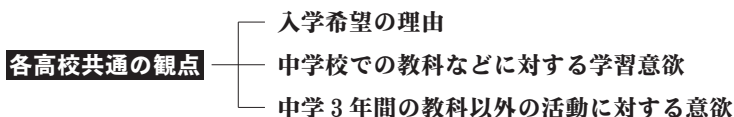
▶難化により5教科の合格者平均点は2012年66.7% (166.8点)→2013年61.1% (305.6点)→2014年52.0% (260.2点)と2012年→2013年は5.6ポイント、2013年→2014年は9.1ポイント低下していて、入試が変更された2013年から明らかに難化しています。過去問に取り組むときは、各年の合格者平均点が高いか低いか(＝問題の難しさ)を意識する必要があります。

3 面接で聞かれるのは？

「志願理由」「学習意欲」などについて聞かれる

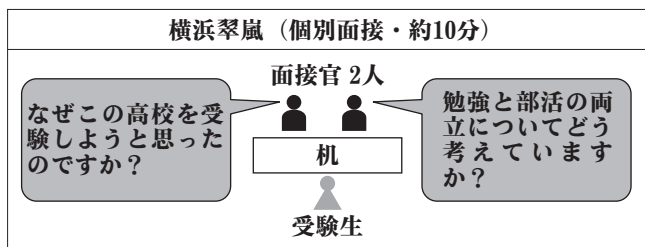
面接は受験者全員に課されます。

各高校共通の観点と**高校ごとの観点**があり、それをもとにして質問されます。



▶各高校の面接のようす

【例】



各高校で決めた下のような評価基準をもとに評価され、面接点として点数化されます。

評価基準 例

評価の観点	評価	評価の尺度	評価基準
高校でどのように勉強したいか？	◎	優れている	・内容が具体的で、自分から積極的に取り組もうとするようなものとなっている。
	○	満足できる	・内容は具体的ではないが、自分から積極的に取り組もうとする姿勢が感じられる。
	△	満足できる水準を下回っている	・自分から積極的に取り組もうとする姿勢が感じられない。

面接を受けるときの注意点

受験生1人に対して、2人以上の面接官によって行われます。

面接官は何をチェックする？

「態度」「ことばづかい」「服装」「髪型」など

具体的にどんなことが聞かれる？

「将来の進路を実現するために心がけていること」「中学時代に一生懸命取り組んだこと」「高校でやりたいこと」「今いちばん興味があること」「自分の性格」「友人関係」など

面接点はこのように決まる



各面接官の評価を観点ごとに適正に点数化したものを100点満点に計算し直し、1次選考では2～6倍、2次選考では2～8倍したものが面接点となります。例えば、面接の結果が80点で、面接の比率が「2」なら、面接点は80点×2＝160点となります。

4 面接シートはどのように書けばいいの？

入学願書と一緒に提出。面接の参考資料として使われる

第14号様式

面 接 シ ー ト		※受 検 番 号
志願者氏名	中学校名	立 中学校
志願先	(県・市)立 高等学校	科
		コース 専攻・部

◎ 面接の質問内容の参考とするため、次のことについて記入してください。2、3については、取組み内容も含めて記してください。

◎ このシートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。

- なぜこの学校に入学したいのですか。
- 中学校での教科等の学習活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。
- 中学生のときに教科等以外の活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。
(学校外の取組みでも構いません。)
- 自分自身のよいところはどのようなところだと考えていますか。

【記入上の注意】 1 ※の欄は記入しないこと。 2 枠内に自筆で記入すること。鉛筆書きも可。写真等は貼り付けないこと。

(2014年入試参考)

⇒まずは受験する高校のことをよく知ることです。『受験ガイド』や各高校のホームページなどで調べるだけではなく、高校の説明会や文化祭などに参加すれば、その高校の良さがよくわかります。校風や行事、部活などを例にあげて、自分の夢や希望とどのように結びつくのか、役に立つのかを考えて、書きましょう。

⇒学校の授業だけではなく、たとえば家庭で理科の自主研究を行ったなど自分から進んで取り組んだものがあれば、それを書きましょう。

⇒生徒会活動や部活動のほか、ボランティア活動などにどのように取り組んだか、また、その活動から得たことなどを思い出し、整理してわかりやすく書きましょう。

⇒学校生活の中で、ほめられたときのことを思い出してみましょう。そのとき体験したことをエピソードとして利用すると書きやすくなります。また、両親や友だち、周りの人の意見を聞いてみるのも参考になります。自分の気づいていない長所が見つかるかもしれません。

5 特色検査について知っておこう！

実施校は、「自己表現」か「実技」を行う

▶2014年入試で検査を実施した高校(全日制普通科・コース・専門学科、総合学科および第二部掲載の専門学科(クリエイティブスクールは除く))【 】内の数字は特色検査の比率

自己表現	与えられたテーマについての記述 →	厚木【2】 小田原【2】 希望ヶ丘【2】 湘南【1次1, 2次2】 西湘(理数コース)【1】 柏陽【2】 平塚江南【2】 市立南【2】 市立横浜サイエンスフロンティア(理数科)【2】 横浜翠嵐【2】 横浜緑ヶ丘【2】
	与えられたテーマについてのスピーチ →	厚木東【3】 光陵【2】 津久井(福祉科)【1】
	与えられたテーマについての討論 →	神奈川総合(国際文化コース)【2】
実 技	美術系学科・コース…デッサン →	上矢部(美術陶芸コース)【1次4, 2次5】 白山(美術コース)【1次4, 2次5】 弥栄(芸術科美術専攻)【1次3, 2次5】
	音楽系学科・コース…独唱・楽器演奏 →	市立戸塚(音楽コース)【3】 弥栄(芸術科音楽専攻)【1次3, 2次5】
	体育系学科・コース…選択したスポーツ種目 →	厚木北(スポーツ科学コース)【5】 荏田(体育コース)【1次3, 2次5】 市立橋(スポーツ科)【5】 弥栄(スポーツ科学科)【1次3, 2次5】 山北(スポーツリーダーコース)【1次3, 2次5】
	英語系学科・コース…口頭による英問英答 →	横浜国際(国際情報科)【1次3, 2次5】

特色検査点はこの
ように決まる



各高校が決めた評価基準をもとにして点数化したものを100点満点に計算し直し、各高校が決めた比率で1～5倍したものが特色検査点となります。

【2014年春の実施例】

横浜翠嵐…課題1と課題2の大問2題で、あわせて7問の構成。

課題1は、日本を代表する哲学者である梅原猛氏の著書「人類哲学序説」の一部を読んで答える形式。

設問1…プレートの動きによってホットスポットで産み出された島の海拔と体積が変化する理由を記述する問題。

課題2…和歌に歌われている情景、適語補充などの問題。

課題3…太陽電池が作りだす電力量に関する問題。

課題4…文章内容を表した英文を選択する問題。

課題2は、「カルチャーラジオ 文学の世界」(勝又基著)、「百年続く企業の条件」(帝国データバンク)などを資料にしてまとめた文を読んで答える形式。

設問1…日本文の主題を答える問題と、英文の内容理解に関する記述問題。

課題2…特定の県で「長寿企業」の排出率が高い理由を記述する問題。

課題3…シャボン玉が消えるまでの色や縞模様見え方が変化する理由を記述する問題。

6 受験できる高校に制限はあるの？

→ 神奈川県内の生徒が受験できる高校は次のとおりです。

県立

学区制限はなく、県内の全地域からすべての高校を受験できる

横浜市立

横浜サイエンスフロンティア・横浜商業(商) → 学区制限なし
金沢・横浜商業(国際) → 市外生30%以内
桜丘・戸塚・東・南・みなと総合 → 市外生8%以内

川崎市立

川崎(普通)・高津・橘(普通) → 市外生8%以内

横須賀市立

横須賀総合 → 学区制限はなく、県内のすべての地域から受験できる

神奈川県の公立高校(全日制・普通科一般コース)では、2004年まで受験できる地域が限定された学区制度がありましたが、学区外受験生が増えたことや交通が便利になったため、2005年に学区がなくなりました。

学区制度がなくなった後、交通アクセスの良い高校や大学合格実績が高い高校に人気が集まり、旧学区間の出入りが活発になりました。その動きを見てみましょう。

下の図は、全日制普通科における旧学区外からの進学希望者の割合を、学区がなくなった年と前の年の2年間と、近年の3年間のもので表したものです。学区制度がなくなった2005年では、たとえば旧横浜南部学区の高校を志望する旧学区外生は、2004年と比べ14% → 40%と大幅に伸びました。2013年では66%となっています。

進学希望状況(旧学区への受験生の移動)

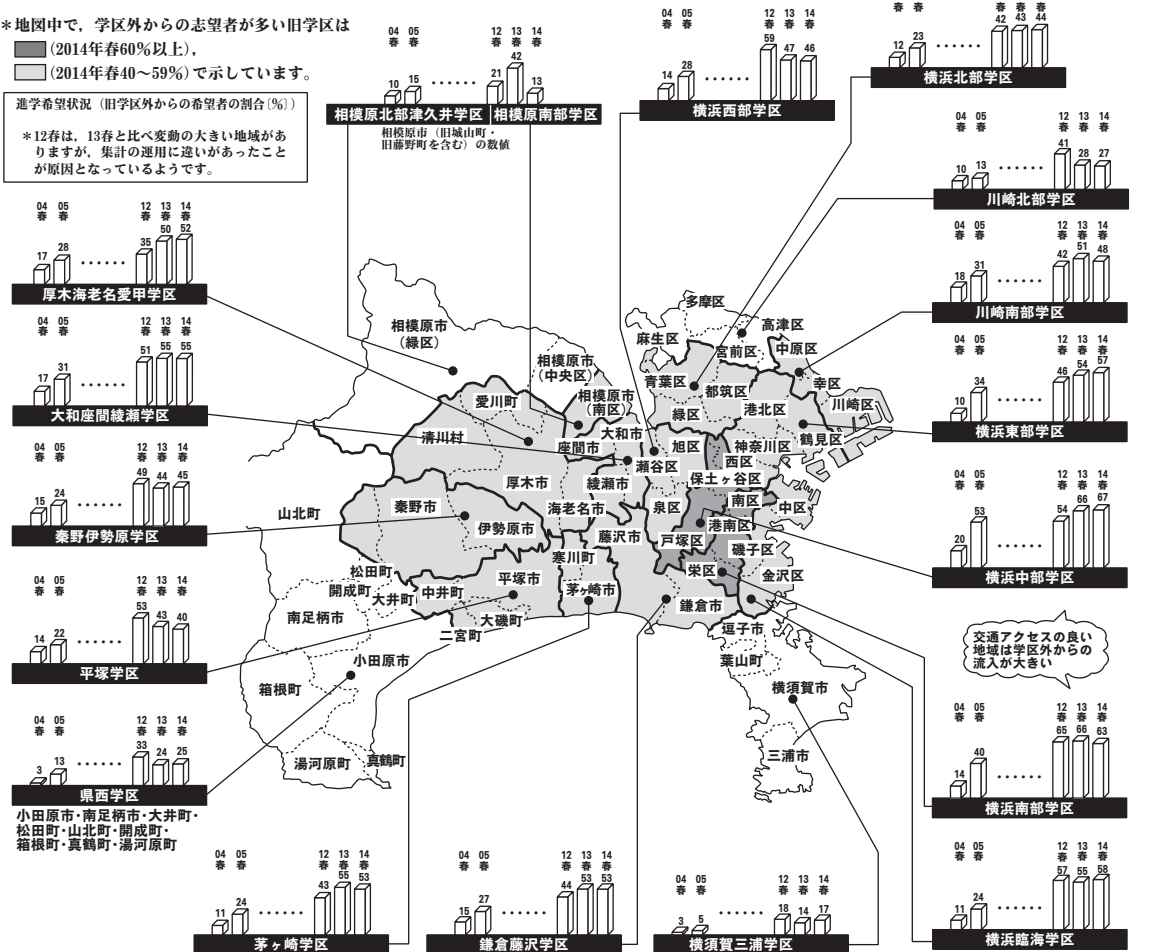
* 地図中で、学区外からの志望者が多い旧学区は

■ (2014年春60%以上)、

□ (2014年春40~59%)で示しています。

進学希望状況(旧学区外からの希望者の割合(%))

* 12春は、13春と比べ変動の大きい地域がありますが、集計の運用に違いがあったことが原因となっているようです。



7 重点化って何？

重点化

特定の教科の配点を大きくすること

内 申… 1～3教科の範囲で最大2倍まで

学力検査… 1～2教科の範囲で最大2倍まで

→ 重点化される教科が得意な場合には、その教科の点数が大きく扱われて有利になるので必ずチェックしておきましょう！ また、学力検査で高得点の教科を重点化する場合、結果的に平均点が低い教科で、高得点となると有利です。しかし、平均点が高いか低いかは事前にはわからないため、各教科とも実力を出し切るようにしましょう。

内申

【例】「英・数・国を各2倍」

通常 … $(9 \text{ 教科} \times 5) \times 2 \text{ 年次} + (9 \text{ 学科} \times 5 \times 2) \times 3 \text{ 年次} = 135 \text{ 点満点}$

重点化 … $(6 \text{ 教科} \times 5 + 3 \text{ 教科} \times 5 \times 2 \text{ 倍}) \times 2 \text{ 年次} + (6 \text{ 教科} \times 5 \times 2 + 3 \text{ 教科} \times 5 \times 2 \text{ 倍} \times 2) \times 3 \text{ 年次} = 180 \text{ 点満点}$

英・数・国を各2倍 英・数・国を各2倍

学力検査

【例】「英を1.5倍、数を1.2倍」

通常 → 5教科 × 100点 = 500点満点

重点化 → 3教科 × 100点 + 100点 × 1.5 + 100点 × 1.2 = 570点満点

(国・社・理) 英を1.5倍 数を1.2倍

重点化を実施した高校（2014年春参考）

二部掲載の普通科一般コース、単位制普通科、総合学科、横浜サイエンスフロンティア

学 校	1 次		2 次	学 校	1 次		2 次
	内申	学力	学力		内申	学力	学力
あ 麻 生	英×1.2、音・美のうち 高得点の1教科×1.2	—	—	さ 西 湘	—	英×2	英×2
	英・数・国×2	高得点の2教科×2	高得点の2教科×2	た 津久井浜	英・数・国×2	—	—
	高得点の2教科×2	—	—	な 新 羽	国×2	国×2	国×2
	英・数・国×2	—	—	は 柏 陽	—	英・数・国のうち 高得点の2教科×2	—
	技能4科のうち 高得点の1教科×2	—	—	橋 本	英・国×2	英・数×1.5	—
	英・数・国×2	—	—	秦野曾屋	英×1.2、数・国・理・社の うち高得点の2教科×1.2	—	—
か 神奈川総合 (個性化) (国際文化)	—	高得点の1教科×2	—	市 立 東	—	英×1.5	英×1.5
	—	英×2	英×2	藤沢清流	英・数・国×1.5	—	—
	—	英×1.5、数×1.2	英×1.5、数×1.2	藤 沢 西	主要5教科のうち高得点の2教科×2、 技能4科のうち高得点の1教科×2	—	高得点の2教科×2
	高得点の2教科×2	高得点の2教科×2	高得点の2教科×2	や 大 和 西	英×2	—	—
	—	—	英×2、数・国のうち 高得点の1教科×2	横 須 賀	英・数・国×2	—	—
	—	英・数×1.5	—	横浜桜陽	高得点の2教科×2	高得点の1教科×2	高得点の1教科×2
さ 座間総合	英×2、数・国×1.5	—	—	横浜国際	英×2	英×2	英×2
	英・数・国×2	—	—	市立横浜サイエンス フロンティア	英・数・理×2	数・理×2	数・理×2
	英・数・国×1.5	—	—	横浜南陵	主要5教科、技能4科の うち高得点の各1教科×2	—	—
	—	—	—				

8 各高校の比率一覧（各比率の校名は50音順）

1次「内申：学力検査：面接」は「3：5：2」「4：4：2」

2次「学力検査：面接」は「8：2」が主流

二部掲載の普通科一般コース，単位制普通科，総合学科，弥栄(理数)，横須賀明光(国際)，市立横浜サイエンスフロンティア，横浜国際を掲載しました。

■第1次選考の比率【評定：学力検査：面接】（2014年春参考） *は特色検査実施校

内申	学力検査	面接	のべ学校数(全体に占める割合)	校名
2	6	2	2校 (1.6%)	鶴見 *横浜翠嵐
3	5	2	40校 (31.5%)	*厚木 厚木清南 生田 海老名 大船 *小田原 神奈川総合(個性) *神奈川総合(国際) 市立金沢 鎌倉 上溝 岸根 *希望ヶ丘 *光陵 市立桜丘 座間 七里ガ浜 *湘南 新城 住吉 茅ヶ崎北陵 *柏陽 秦野 市立東 水取沢 *平塚江南 藤沢清流 市立みなと総合 *市立南 大和 大和西 百合丘 横須賀 横須賀大津 市立横須賀総合 *市立横浜サイエンスフロンティア 横浜栄 横浜清陵総合 横浜南陵 *横浜緑ヶ丘
4	4	2	55校 (43.3%)	麻溝台 麻生 厚木西 有馬 生田東 伊志田 伊勢原 市ヶ尾 大磯 追浜 金井 上鶴間 上溝南 上矢部 川崎 市立川崎 川崎北 川和 霧が丘 港北 相模原 座間総合 湘南台 城郷 新栄 菅 逗葉 瀬谷 大師 市立高津 高浜 市立橋 多摩 茅ヶ崎 茅ヶ崎西浜 津久井浜 鶴見総合 鶴嶺 市立戸塚 新羽 橋本 秦野曾屋 深沢 藤沢総合 藤沢西 保土ヶ谷 舞岡 元石川 弥栄(理数) 大和南 横須賀明光(国際) 横浜桜陽 *横浜国際 横浜平沼 横浜緑園総合
5	3	2	23校 (18.1%)	愛川 旭 麻生総合 *厚木東 綾瀬 綾瀬西 荏田 相模田名 相模原総合 寒川 松陽 城山 逗子 西湘 瀬谷西 津久井 永谷 二宮 白山 三浦臨海 大和東 横浜旭陵 横浜立野
4	3	3	3校 (2.4%)	金沢総合 秦野総合 平塚湘風
6	2	2	4校 (3.1%)	厚木北 磯子 大井 相模原青陵

■第2次選考の比率【学力検査：面接】（2014年春参考） *は特色検査実施校

学力検査	面接	のべ学校数(全体に占める割合)	校名
8	2	84校 (66.1%)	麻溝台 麻生 *厚木 厚木清南 *厚木東 綾瀬 有馬 生田 生田東 伊志田 磯子 市ヶ尾 荏田 海老名 大磯 大船 *小田原 追浜 金井 神奈川総合(個性) *神奈川総合(国際) 市立金沢 鎌倉 上鶴間 上溝 上溝南 川崎北 岸根 霧が丘 港北 *光陵 相模田名 相模原 相模原青陵 市立桜丘 座間 *湘南 湘南台 松陽 城郷 城山 新栄 新城 逗子 住吉 西湘 瀬谷 多摩 茅ヶ崎 茅ヶ崎西浜 茅ヶ崎北陵 津久井浜 市立戸塚 新羽 *柏陽 橋本 秦野 秦野曾屋 市立東 水取沢 *平塚江南 深沢 藤沢清流 舞岡 三浦臨海 市立みなと総合 元石川 弥栄(理数) 大和 大和西 百合丘 横須賀 横須賀大津 市立横須賀総合 横須賀明光(国際) *横浜国際 *市立横浜サイエンスフロンティア 横浜栄 *横浜翠嵐 横浜立野 横浜南陵 横浜平沼 *横浜緑ヶ丘 横浜緑園総合
7	3	26校 (20.5%)	旭 麻生総合 厚木西 綾瀬西 伊勢原 大井 上矢部 川崎 川和 *希望ヶ丘 座間総合 七里ガ浜 逗葉 大師 高浜 津久井 永谷 白山 平塚湘風 藤沢総合 藤沢西 保土ヶ谷 *市立南 大和東 横浜旭陵 横浜清陵総合
6	4	12校 (9.5%)	愛川 金沢総合 市立川崎 寒川 菅 瀬谷西 市立高津 市立橋 鶴見総合 二宮 大和南 横浜桜陽
5	5	5校 (3.9%)	厚木北 相模原総合 鶴見 鶴嶺 秦野総合

9 絶対評価？ 相対評価？

→絶対評価に変わり，5と4の割合が拡大

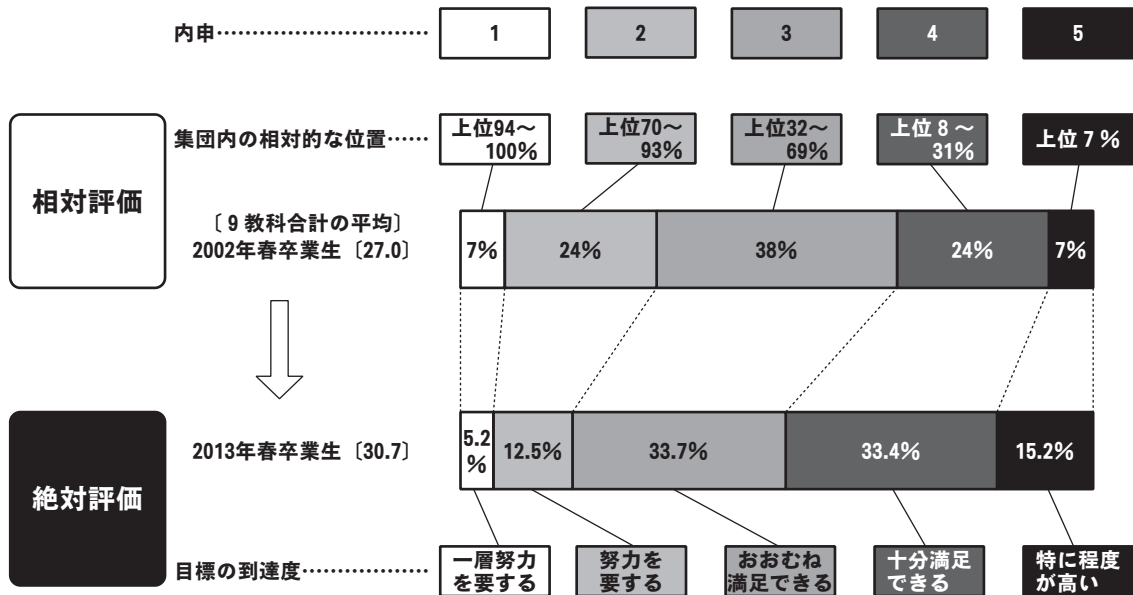
内申（評定）は，2002年度の中学の学習指導要領改訂に伴い，2003年春の卒業生より相対評価から絶対評価に変わりました。相対評価での5段階の内申は「5」「1」各7%，「4」「2」各24%，「3」38%という配分が決められていました。一方，絶対評価では，指導要領に示された目標にどれくらい達しているかによって5段階で評定され，配分の制限はありません。

下の絶対評価のグラフは，2013年春卒業予定者の第3学年2学期の9教科平均による各内申の割合を示したものです。相対評価と比べて「5」「4」の割合が大きくなり，「2」「1」が小さくなっていま

す。つまり，絶対評価に変わって，内申が高めにつけられていることがわかります。

絶対評価では，各内申の配分が決められていないため，中学校や地域によって配分に違いが出てきます。調査書には内申とあわせて各教科の観点別評価が3段階で記入されています。各教科の観点別評価をもとに各教科の内申を決めるため，観点別評価と一緒に記載することによって内申が適正につけられているかどうかある程度高校側でもわかるようになりました。なお，絶対評価に変わってから各評定にあまり大きな変化がないことから，2014年からは調査を取りやめています。

絶対評価と相対評価の分布の違い【例】



※絶対評価5～1の内申の割合は，神奈川県内公立中学校の2013年春卒業予定者の第3学年2学期の各内申の割合（9教科平均）

*2014年春卒業生からは調査を取りやめています。



相対評価のときは，どの中学校も内申平均は3でしたが，絶対評価になってからは，たとえば2013年春卒業生の全県評定分布の場合，主要3教科平均9→10.1(+1.1)，主要5教科平均15→16.9(+1.9)，9教科平均27→30.7(+3.7)と高くなっています。

10 公立高校の再編と入試改革のあゆみ

神奈川県公立高校では、これまでさまざまな学校再編や入試改革が行われてきました。近年では、2000年より10年間にわたり県立高校改革推進計画・横浜市立高校再編整備計画が進められ、2つ以上の学校が1つにまとめられたり、学校そのものがなくなるにより、県立の全日制高校は1999年時点の166校から141校に、うち普通科高校が122校から82

校に減っています。一方、総合学科・単位制・フレキシブルスクール・中等教育学校・クリエイティブスクールなど新しいタイプの学校が設置されてきました。

再編が進む一方で、生徒の学力を伸ばすための事業も進められています。

～2010年までのおもな入試改革

1953年…ア・テスト（アチーブメントテスト）を入試選抜資料として取り入れる

1978年…「推薦」導入（農業科・水産科のみ）

1997年…ア・テスト廃止

2004年…推薦→前期選抜、一般→後期選抜に移行

2005年…県立高校普通科一般コースの学区撤廃

年 度	再編のあゆみ（2015年以降は予定）、推進事業	おもな入試改革（変更点）
2011年 （平成23年）	S S H （～2015年）西湘	「調査書：学力検査」＝「4：6」の学力重視校は普通科一般コース99校中57校に
2012年 （平成24年）	再 編 市立桜丘（単位制→学年制） 中高一貫 光陵（横国大横浜中との連携で中高一貫コース設置） 市立南（併設中学を開校） 相模大野・大原（中等教育学校への完全移行により高校募集停止）	「調査書：学力調査」＝「4：6」の学力重視校は普通科一般コース98校中56校に - 市立横浜サイエンスフロンティアが学区撤廃 - 市立金沢一般コースの学区外からの受け入れが8％から30％以内に
2013年 （平成25年）	再 編 津久井（福祉コース→福祉科） 磯子（国際ビジネス→グローバルコミュニケーション） 山北（体育→スポーツリーダー） 有馬（外国語→英語） 市立南（単位制→学年制） 商工（総合技術科・総合ビジネス科併設高校に移行） 相模・平塚商業・厚木商業（総合ビジネス科併設高校に移行） 中央農業・平塚農業（農業総合科併設高校に移行） S S H （～2017年）厚木 推 進 校 （～2015年）学力向上進学重点校：厚木・小田原・追浜・鎌倉・川和・希望ヶ丘・光陵・相模原・湘南・多摩・柏陽・秦野・平塚江南・大和・横須賀・横浜国際・横浜翠嵐・横浜緑ヶ丘	- 前期選抜・後期選抜を共通選抜に一本化 - 学力検査と面接を全員に実施 - 学校独自問題を廃止 - 高校の判断により、特色検査として自己表現または実技を実施 - 入試の変更に伴い、これまでの「調査書：学力検査」の比率が「内申：学力検査：面接」の比率に変わったため、選抜資料の比率の種類を拡大
2014年 （平成26年）	再 編 横浜港南方面多部制定時制（→単位制 ＊校地は旧港南台） 市立川崎（併設中学を開校し、二部制定時制を新設） 市立戸塚（芸術コースを設置） 市立横浜商業（スポーツマネジメント科を設置）	
2015年 （平成27年）	再 編 市立東（2015年にスポーツコースを設置） ＊2015年度中に「新たな再編計画」を策定予定 S G H （～2018年）横浜国際、市立横浜サイエンスフロンティア	

S S H …文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール

S G H …文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクール